

# 知床五湖の利用のあり方協議会（第16回）議事概要

1. 日時：平成22年12月22日（水） 14：00～17：00

2. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

## 3. 出席者：

しれとこフォーラム21 小川・吉川

ウトロ地域協議会 松本・佐藤

知床知床ガイド協議会 鈴木・山本・関口

ウトロ自治会 梅沢

斜里バス 下山・菅原

知床民宿協会 小野寺

知床エコツーリズム推進協議会 松田

知床斜里知床斜里町観光協会 喜来・青木

自然公園財団 杉野

環境省 野口・則久・野川・中村

北海道 大宮・石川

斜里町 百々・岡田

知床財団 増田・寺山・近藤

※順不同、敬称略

## 4. 配布資料：

資料1 指定認定機関候補の選定経過と今後の予定について

資料2-1 知床五湖登録引率者登録試験の実施経過と今後の予定について

資料2-2 平成23年度知床五湖登録引率者名簿

資料3-1 平成23年度知床五湖地上歩道の運用案

資料3-2 ヒグマ活動期時間帯枠案

参考資料1 第3回知床五湖登録引率者審査部会議事メモ

参考資料2 地上歩道運用ルール検討についての検討事項（知床斜里町観光協会）

参考資料3 ヒグマ活動期時間帯枠路線バス等との接続利用について

参考資料4 知床五湖の地上遊歩道平成23年度より変更点についての

説明会実施報告（知床斜里町観光協会）

【開会挨拶】 釧路自然環境事務所 野口所長

【指定認定期間の選定結果について】

環境省：資料 1 の説明

知床財団：指定認定機関に選定されました知床財団です。今後も指定認定機関独自で運営方針を決めて行くのではなく、協議会の中で話し合っ決めて行きたいと考えています。これからも皆様にご助言をいただきたい。よろしくお願い致します。

環境省：質問等ある場合挙手をお願い致します。

一同異議なし

【登録引率者認定試験の結果について】

環境省：資料 2-1、2-2 の説明

しれとこフォーラム 2 1：入試試験のような印象をうける。狭い門にせず、講習会を開き、教えたことを確認するようなものにするべきではないか。今回はこれまで五湖でガイドを行ってきた人達だったからよいが、これでは外部の人は合格できないのではないだろうか。

環境省：今回の試験はこれまで研修や利用コントロール導入実験に参加した方々に行った。試験のねらいはこれまで研修、実験などで得られた知識、技術の習熟度を確認することである。今まで教えたことから飛躍的に高いものを試験の項目にしている訳ではない。新規要請については審査部会で行っていくが、研修を積んでいき、最終的に確認するという手順で行くのではないかと考えている。

しれとこフォーラム 2 1：今回の試験内容ではクマの対処、地形等を最初から教えなければ絶対に合格できない。養成方法等を考えていかなければならないのではないか。

環境省：養成方法については現在審査部会内でも議論している。一度登録された引率者の研修等についてもこれから審査部会で話し合っていく所存である。

環境省：それでは今回合格した方々を利用調整地区認定引率者として認めてよいか。

一同異議なし

【地上歩道の運用について ヒグマ活動期】

環境省：資料 3-1、3-2、参考資料 2 の説明

まずヒグマ活動期の運用についてであるが、これまでのツアー出発の間隔はこれまで 15 分間隔ということであったが、知床斜里町観光協会から 10 分間隔はできないかという意見をいただいた。安全管理上問題はなく、利用コントロール実験でも 10 分間隔でも問題ないという結果も出ている。しかし 10 分間隔では当日受付が難しくなるとの意見もある。何分間隔で出発するかという問題は審査部会内でも話し合っているが、部会案をだし協

議会内で審議することとなった。出発間隔についてはバスの運行時間、観光船の時間等についても配慮をする事が必要と考えるが、時間枠を決める際どのような配慮が必要か意見をいただきたい。また今日頂いた意見を部会内に持ち帰り、協議して部会内で決定してもよいか伺いたい。

**知床財団**：10分間隔で本当に手続きが可能なのかが不安である。しかし実際可能なのであればやりたいと考えている。ヒグマ活動期は代表者申請であるため、引率者と協力して円滑に手続きを行えるようにしたい。またすべて10分間隔ではなくても利用者の多い時間帯だけ10分間隔に、利用が少ないところは間隔を空けるなどが可能なのであれば審査部会で議論していただきたい。さらにバスの接続する時間帯は個人客向けに当日枠を増やす等のこと考えているのだろうか。

**環境省**：遊歩道上に一度に入れるのは8グループなので、間隔を一定にしないと空白時間帯ができてしまう。このためこのようなスケジュールで考えてみた。バスに接続については斜里バスさんにお聞きしたいのだが、バスの運行スケジュールによっては時間枠の組み直しが必要である。シャトルバス以外の来年の運行時間について決まっているのかお聞きしたい。

**斜里バス**：シャトルバス期間外であれば、おそらく今年度と変わらないと思われる。

**しれとこフォーラム21**：10分間隔はこれまで安全上問題があると言っていたが、安全面がクリアされたのだろうか。

**環境省**：当初から一度に遊歩道上に入るのは最大8グループというのが管理上必要であった。出発時間の間隔については未定の部分であった。

**斜里町**：これまで話されてきたのは、仮に等間隔で入れた場合、15分間隔だと8組を超えないが、10分間隔だと8組を超えるという部分であり、それが問題であった。現段階で話し合われているのは出発間隔を変えても、地上遊歩道同時滞在数は8組に保つというものであり、人気のある時間帯のみツアーの数が増えるというものである。

**しれとこフォーラム21**：では出発間隔は10分ではなく、より短く5分間隔など変えていくのではないか。そうなのであれば10分に決定してしまうのはどうか。

**環境省**：今回決定したからといって、今後変更しないというものではない。今後も状況に合わせて話し合い、見直していく。

**斜里町**：ただどこまでも短くできるという訳ではない。しかし今後実際に運営し、経験をもとにまた話し合っていくことはできる。

**知床財団**：実際利用コントロール実験を行った際、安全性の面、受付業務を行うことのできる時間の面、間隔が短くて前の班に次の班が追いついてしまうという、体験の質の低下の面と3つの面のバランスが問題であった。現在体験の質について議論されていないが、間隔を狭めすぎれば体験の質が落ちてしまう可能性がある。団体を多く受け入れれば個人へのサービスが低下することになるということを視野に入れたうえで議論していただきたい。このような問題については皆さんのご判断が重要である。

**知床ガイド協議会**：10分間隔について異論はない。その上で時間枠についてなのだが、利用コントロール導入実験では14時から14時45分出発までのツアーの利用が一番多かった。現在の案はこの時間帯が薄い状態だが、ここを重点的に的厚くするべきではないかと考える。

**環境省**：時間枠については検討したいと考える。しかし利用調整地区の性質上、遊歩道の中では食事はとれない。そのため昼食時をさけることが一つの課題であると考えていた。

**知床財団**：23年度のヒグマ活動期が終わった段階で来年度のダイヤ改正を行う話し合いができるようにするべきだと考える。またヒグマ遭遇によるツアー運休が発生した場合、自動再開時間が空白時間にぶつかると次のツアーまでの時間が長くなってしまう。そのあたりも検討していただきたい。

**知床ガイド協議会**：これは今かっちり決めるべきなのだろうか。予約システムがあるためある程度決めないといけないのは理解できる。しかし地上歩道同時滞在数が8組というルールを守って、状況によって現場でうまく調整するということはできないのだろうか。

**知床財団**：実験の際、運休してツアーが遊歩道に入れない場合、利用者は2時間後のツアーに受付し直していた。少なくとも実験中の状況ではツアーを調整し直す時間はさすがになかった。実際は決まった枠のどこに入れ込み直すかを考えることになるだろう。

**知床ガイド協議会**：ガイド事業者は24枠しかないなかで予約をとる。ツアー料金はガイド事業者によって様々である。5名の旅行団体の場合、残りの空きは5名あるが他のグループを入れるのを嫌がる場合もあるだろう。こういった場合も含め登録引率者の中でルールを決めておくべき。

**知床財団**：それは利用コントロール実験でも実際に起こっていた。人数が空いている場合に入れてくれるガイド事業者もあれば、嫌がる事業者もいた。実際仮押さえしておくという方法も可能だが、全体ではより多くの客に利用してもらおうという意識が欲しいとおもう。問題意識はすでにできていると考える。

**しれとこフォーラム21**：楽しみにしてきた利用客のツアーがちょうど遊歩道が閉鎖されて入れず、その数分後には入ることができるようになったらストレスが高まるのではないか。

**斜里バス**：入れなかったツアーの引率者が、次のツアーの引率者に利用者を頼むことはできないのだろうか。

**知床財団**：それは実際にやっていた。これに関しては柔軟にやって行きたいと考えている。

**しれとこフォーラム21**：臨機応変に2つ続けてツアーを入れるのはどうか。

**知床財団**：さすがにそれはできない。そこまでの権限は指定認定機関にはない。

いままでつみあげたルールを壊すわけにはいかないが、融通できる所は融通をきかせていきたいと考える。

**知床知床ガイド協議会**：私なら3人で受ければ3人でツアーを行いたい。安全をまもるために登録引率者がつくわけである。当日唐突に入ってきたはどんな人なのかわからない。

多く利用者をいれるか、質を高めるかというバランスが重要である。

**知床財団**：利用コントロール実験には、受け入れるかどうかの判断は引率者にしていただいた。

**知床ガイド協議会**：そのためにもある時間帯には当日枠を増やす必要があるのではないかと。

**ウトロ地域協議会**：やはり質を落とさないようにすることが必要だろう。

**知床エコツーリズム推進協議会**：出発時間は10分間隔にできる限りしてほしい。地元の飲食店への配慮も必要だろう。当日五湖にきて初めてこのシステムを知ることが一番問題である。そのためにもこのシステムの周知について考える必要がある。スケジュールをいくら考えてもガイドがないのでは意味がない。

**環境省**：今回の意見を持ち帰り審査部会で協議を行い決定します。また出発時間が10分間隔になることについても了解いただけたと考えてよろしいかと。

一同了承

#### 【地上歩道の運用について 植生保護期】

**環境省**：資料3-1の説明

**しれとこフォーラム21**：地上歩道以外に木道を利用する人もいるだろう。閉館したら園地は空いているのに五湖フィールドハウスに入れられないのか。

**環境省**：五湖フィールドハウスは地上歩道に入るための施設である。隣にパーサービスセンターがありトイレ等の問題はないと考える。

**しれとこフォーラム21**：地上遊歩道の中に人がいる時点で五湖フィールドハウスは閉館するのか。

**環境省**：想定では時間上、大ループは無理なので小ループに行くはずで、小ループであれば25分あれば高架木道に上がるだろうと考えている。

**知床斜里町観光協会**：10月の場合駐車場は空いている時間でも地上歩道には入れないということか。それはサービスが悪いのではないかと。また23年6月以降に予約が開始されるわけだが、なぜ6月なのかと旅行会社に聞かれる。なぜその前に予約が開始できないのか。

**環境省**：植生保護期予約サイトについては構築中である。仮押さえの問題も懸念されている。故に予約サイトの申し込みは1か月前から立ち上げるのがよいかと考えている。開館時間については、みなさんから日没に合わせて閉館し人工を減らし手数料を下げるべきであるという話をいただいていた。もともと日没後に地上歩道にはいるのは好ましくないと考えている。

**しれとこフォーラム21**：最後に送り出した人でも一周廻る時間分はいるべきではないのか。

**環境省**：手数料を下げる必要があるという指摘をいただいたからきりつめたのだ。サービスは重要であると考えているが、手数料を下げるために削らざるを得なかった。いまさらサ

ービスを向上しろと言われても困る。

**知床斜里町観光協会**：料金設定の時に最終レクチャー時刻や、閉館時間についての議論は出ていたか。

**環境省**：出ている。第12回の資料に載っている。

**しれとこフォーラム21**：利用者がいるのに管理者がいないというのはいかなものだろうか。

**環境省**：植生保護期では五湖フィールドハウスから出発し、利用者は高架木道からでてる。遅い時間は小ループのみの利用になるということを事前に周知する必要がある。

**しれとこフォーラム21**：閉館時間というのは人が誰もいなくなるということなのか。

**環境省**：基本的にはそうである。

**しれとこフォーラム21**：最終レクチャーを前倒しするか、大ループを一周廻るためには何時までに来るべきと周知させるべきだろう。

**知床斜里町観光協会**：最後の時間帯は小ループ以外利用できないという話は協議がされたのか。していないのならば事前に周知する必要があるのではないか。

**環境省**：最後に大ループを回れる時間を提示する必要があり、何時以降は小ループのみの利用であるということをはっきりさせなければならないということだろう。

**しれとこフォーラム21**：明るければ大ループに入るだろう。

**知床財団**：この時間帯であれば帰りは確実に暗くなる。

**しれとこフォーラム21**：やはり大ループの最終時間と小ループの最終時間を明示すべきだろう。さらに最後にスタッフが見回りする必要があるかもしれない。

**知床財団**：指定認定機関の仕事ではないことをご承知いただきたい。

**しれとこフォーラム21**：指定認定機関がやらなければいけないわけではないだろう。

**環境省**：五湖全体の管理として考えて行く必要はあるだろう。

**環境省**：大ループの最終時間については、次回の協議会で提示させていただく。

**知床ガイド協議会**：一般の方はお金を払うということは最後まで人が管理していると思うだろう。法的にはレクチャーが終わった時点で閉めてもいいはずだが、利用者としては納得いかないかもしれない。また事故が起こった際はビジターの自己責任なのかそうでないのかははっきりさせる必要があるだろう。最初から事故責任だと明示すべき。

**環境省**：責任については現段階で決めるのは難しい。基本は自己責任ということになる。かといって管理者側がなにも感知しないという訳ではなく、それぞれの機関で負担する形になるだろう。

**知床ガイド協議会**：五湖協議会で運営方針を決めてやっている以上どこかは訴えられるだろう。

**しれとこフォーラム21**：すべてのビジターに五湖は自己責任と環境省が伝えるべきである。

**環境省**：利用調整地区であるからにはバックアップを考えていく必要があるだろう。

しれとこフォーラム 21：管理者を一人でも置くべきだろう。さらに緊急事態が起きた時のシミュレーションをするべきだ。

知床斜里町観光協会：ゲート開閉については来年もやるのか。

斜里町：基本的に必要であると考えます。

知床斜里町観光協会：それであればゲートの開閉を行う者がみればよいのではないかと。付帯事業という考え方もあるだろう。

環境省：それでは最終レクチャー時間については次回協議会にてお示しいたします。

#### 【その他について】

環境省：今までの議事概要を送付するので確認をお願いしたい。五湖フィールドハウスは現在基礎を打っている段階である。

自然公園財団：パークサービスセンターはこれから着工する。

知床斜里町観光協会：参考資料 4 の説明

しれとこフォーラム 21：指定認定機関が知床財団に決まったわけだが、知床財団のアピールポイントを我々にも教えていただきたい。

知床財団：認定手数料を下げるために業務は細分化されている。指定認定機関の業務はごく一部であり、全体はこれから決まって行く。提案書等を提出することはできる。

環境省：業務実施規定について現在作成している段階である。一回説明会を開きましょうか。

しれとこフォーラム 21：業務がすべて決定した段階でかまない。

しれとこフォーラム 21：そろそろ五湖の冬季利用についての検討を平行して進めて行って欲しいと考えている。

環境省：冬季利用についてはこの場だけではないかもしれないが話し合っていきたいとは考えている。

知床民宿協会：予約システムについてはどうなるのか。

環境省：まだ全く決まっていないのでご意見いただきたい。

#### 【閉会】